

閉校式

『伊良部中学校』・『佐良浜中学校』・『伊良部小学校』・『佐良浜小学校』

去る3月10日(日)に伊良部地区の「伊良部中学校」・「佐良浜中学校」の閉校式、22日(金)には「伊良部小学校」・「佐良浜小学校」の閉校式が厳粛な雰囲気の中挙行されました。



伊良部地区の小中学校は、学校・保護者・地域と一致団結、切磋琢磨しながら、それぞれの歴史と伝統を築き、伊良部・佐良浜地区の教育環境の整備・充実に務めてきました。

思い出深き母校の閉校に、一抹の寂しさを感じますが、両校が閉校となりましても、これまで築いた輝かしい歴史と伝統は、人々の胸に永遠に刻み込まれ、堂々と結の橋学園(伊良部島小中学校)へ引き継がれます。

これまで学校を支えて頂いた皆様には、今後とも結の橋学園に学ぶ児童・生徒をこれまで同様、地域の宝として、宮古島の宝として見守り育てていただきますようお願い致します。



結の橋学園入学式

～新入学生徒（7年生）あいさつ～

今日、私たち新入生は、結の橋学園に入学できたことをうれしく思います。今までとは違った学校生活への不安もありますが、新しい友達や先生に出会えること、新しい校舎で勉強ができること、1年生から9年生までみんなで学校行事ができることなど、楽しみにしていることもたくさんあります。新しい仲間とともに、実りのある3年間を過ごしたいと思います。

私たち新入生一同は、結の橋学園の児童生徒として誇りを持ち、新しい伝統を築き上げていきたいと思います。お世話になる先生方、地域の皆さん、そしてともに学んでいく先輩方や後輩の皆さん、今日からよろしくお願ひします。



～校長式辞～

子どもたちには、小中一貫9カ年の学びの中で、自分の興味・関心を伸ばし、教科の学習や様々な行事や体験の中で自己の確立と適性を見つめながら、何事にもTryする精神を身につけてほしいと思います。多少つまづいたりしても、また、チャレンジする気持ちを持ち続けることができれば、可能性は拓き、夢をつなぎ努力し続けることで、必ずやそれが結ばれるものと信じています。それぞれの夢実現に向かい、この結の橋学園でぞんぶんに個性を伸ばし、互いを認め合いながら切磋琢磨して、「Dreams Come true」を目指しましょう。

次は、1年生を中心にお話します。皆さんは結の橋学園伊良部島小学校初の新入生です。そして、5月からは「令和」元年の1年生ということになります。結の橋学園には、小さいお兄ちゃん、お姉ちゃんからもっと大きいお兄さんお姉さんもたくさんいますので安心して下さい。



平成31年3月に、沖縄振興特別推進市町村交付金を活用している宮古島市neo歴史文化ロード整備事業のパンフレット『綾道』シリーズの第八弾にあたる城辺東・北コースが発刊されました。現在は各庁舎にて無料配布を行っているところです。

今回の『綾道』は、大きくは城辺東・北コースとして、その中で三つのショートコースを策定し、それぞれ比嘉・長間コース、保良・新城コース、西里添・下里添・福里コースとして紹介しております。指定文化財を中心としながらも、「農業のまち」としての城辺地区の特徴や、農業に深く関わる地下ダムの仕組み、城辺地区の偉人に関連する人頭税廃止運動や、城辺地区の埋蔵文化財、城辺地区の伝承・民話など、幅広く取り上げており、地域の特色を楽しめる一冊になっているものと思っております。



「綾道」ポータルサイト
QRコード



本シリーズは「分かりやすく・親しみやすく・手に取りやすく」を念頭において作成しており、文化財についての説明は極力簡略化して掲載することで、宮古島の歴史・文化に関心を持つ方々への導入本として活用出来るよう編集しております。ぜひ、島内外を問わず幅広い層で利用していただける事を期待しております。

今後は、令和3年度までに上野・野原・下地東・島尻・狩俣・池間・大神島のコース策定を予定しており、今年度は次年度以降のコース策定構想や、これまで策定された既存コースの検証を行いながら、次の綾道コース策定に向けて取り組んでいきたいと思っております。

連載

文化財を巡る

No.37



『綾道 城辺東・北コース』発刊

宮國教育長を再任



宮國 博 教育長

宮國教育長の再任は市議会3月定例会の本会議で可決されました。辞令交付式が3月29日に市役所平良庁舎市長室で行われ、下地市長が辞令を手渡しました。宮國教育長は「全力で任期いっぱい頑張っていきたいと思っております」とコメントしています。

任期は2019年4月1日から2022年3月31日